

# 三重の 生きものたより

## 第 2 2 号



アシハラガニは、その名の通り河口付近のアシ原やその周辺の砂泥地に巣穴を掘って生活するカニだ。甲幅は 3.5cm 程度であるが、クリーム色の立派なハサミと厚い胸部を持ち、挟まれるとめっぽう痛い。このカニ、人が近づくとすぐアシ原に逃げ込んでしまうが、春から秋の干潮時には干潟を歩き回り、日和見的に食事をする姿を見ることができる。

アシハラガニが利用する干潟は、エビやゴカイ、貝など多様な生命が食物連鎖によって支え合い、豊かな生態系を形成するとともに、汚れた水をきれいにしてくれる自然のフィルター役割を果たしてきたのだ。しかしながら、干潟は利用のし易さなどから真っ先に埋め立ての対象とされ、失われてきた。多くの生命を育んでくれる干潟を、私たちは大切に守ることを考える時なのかもしれない。アシハラガニが住んでいる身近な干潟へ出掛けてみてはいかがだろうか。